

○令和2年度第4回神戸市保健医療審議会 医療専門分科会開催結果

日時	令和3年2月5日（水）午後1時30分～
場所	神戸市医師会館 4階ホール
議事進行	眞庭分科会長（神戸大学医学部附属病院長） 事務局（神戸市健康局地域医療課長）
出席者	委員17名中12名が出席（うち現地参加4名、Web参加8名）
議事次第概要	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会長の選任について ・病院及び診療所の開設・増床許可等事務に係る意見について（六甲病院）
内容	<p>○分科会長の選任について、互選の結果、眞庭委員が分科会長に選任された。</p> <p>○灘区の六甲病院について、国家公務員共済組合連合会から医療法人若葉会への開設者変更にかかる事前協議書（資料1）の提出があったため、両法人出席の上、前回1月7日の医療専門分科会に引き続き、内容について再度協議。</p> <p>（主な質疑応答や意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六甲病院の緩和ケアは、神戸市内でも重要な診療科であり、維持もしくは拡大してもらいたいというような意見が、前回出たがいかかか。 <p>→しっかりと継続していく。看護師が中心となって、全体的に余裕があれば拡大するが、今は現状維持をしっかりとっていくということを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議で、2年はこのままの形態を続ける、2年後に変えると言われたのが、それが緩和ケアのほうまで影響があるのか。 <p>→病院が老朽化しているので改築したいが、赤字の病院を改築というわけにはいかないので、2年で何とか経営をよくするというのを考えた上で、緩和ケアは継続して実施する。</p> <p>その上で、緩和ケアを目指して来てくれる医師及び看護師がいるので、手広くやっていければと思うが、まずは現状維持というのを考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に緩和ケア病棟は、看護師の配置を手厚くしないと、なかなかいいケアにつながらないのではないかとというふうに考えるが、看護体

制は、どのように考えているか。

→おっしゃるとおりと思う。緩和ケアをしたいという看護師を、開設までの間に教育したい。何人入れて、どんな教育をするかということをも3カ月なりで検討し実施した上で、開院のほうにつなげたい。

・どのような目的の病院にするのか、あるいは、東灘区、灘区で、その病院を運営して、地元や神戸市にどのように貢献していくのか、あるいはまた、どのような特色のある医療を提供していきたいのかという、そういう考えはあるか。

→急性期を担う病院はたくさんあるため、六甲病院としては、急性期医療ができるようにサポートする、リハビリをして戻すなど2番手、3番手の役目ではないかと思う。それが現状の私らが今やっている医療なので、それを崩すということは考えていない。

急性期は、院内発症であったり、救急で受け入れするものは、できるだけ自分のところで他の迷惑にならないように完了しようとは思いますが、どんどん他と競って救急をとるということを考えているわけでは現状ではない。

・救急に力を入れる場合、主にどのような分野に力を入れたいか、あるいは、どのようなすみ分けをされるか。

→消化器の救急は周りの病院に担っていただいたうえで、問題があれば中央市民病院がバックアップしてくれるという状況なので、我々は整形外科と内科救急の二次救急を担っていきたい。

・建物が老朽化しているということで、それに関してどのように考えておられるか。

→経営が安定することがまず第一で、その目途が立てば、早々に改築を考えたい。

・公的病院としての六甲病院の今までの地域に対する貢献をどの程度継承していただけるのか。

→今やっている医療がどのレベルのものなのかということをも十分承知しているので、その医療レベルが下がらないように、サービスが落ちないように、十分検討する。

・コロナ対応は、現在どういうふうを考えられているか。

→ベッドは、陰圧がついた特別室を2つ用意し、保健所の指示に従って、いつも2床ほぼいっぱい状態。それで、院内の感染委員会と話し合いました。例えば、院内発症をどうしようかということ、それと、かかりつけの患者が熱が出て、実はコロナという場合はどうしようか、それから、挿管を希望しない老人がコロナになったときどうしようかということで、ベッドは余分に3つ空け、その3つは、以前からもし万が一のことがあったらということで使うように病院としては用意をしている。

・開設時期のことについて、ご説明いただきたい。

→資料1「病院開設事前協議書（医療法人若葉会 六甲病院）」の3ページ目の右、開設しようとする病院の概要の開設予定年月は現在

「平成3年4月1日」と記述しているが、これを「令和3年7月1日」の予定に変更させていただきたい。

医師を含めて、職員の一人一人の個人面談を、医師を含めて恐らく約130名から140名の方、時間をかけて、日にちをかけてお話しさせていただくのと、承継をやる実務的な引継ぎ作業として、情報システム、それから調達先、100社以上ありまして、こちらとの契約の調整など、大量に引継ぎ作業として具体的な実務的なところを時間をかけてやるため、7月1日に変更させていただきたい。

法人からの説明、質疑応答をふまえ、公的な役割を維持しながら経営改善をしていただくというような部分等については、この分科会からの意見という形で、事務局で意見書案を作成し、分科会長・副分科会長で確認することで承認された。（後日作成した意見書は別添のとおり）